

ある町の 天気相談所

Vol.92 2025.08.04

令和7年8月号



今年の梅雨について

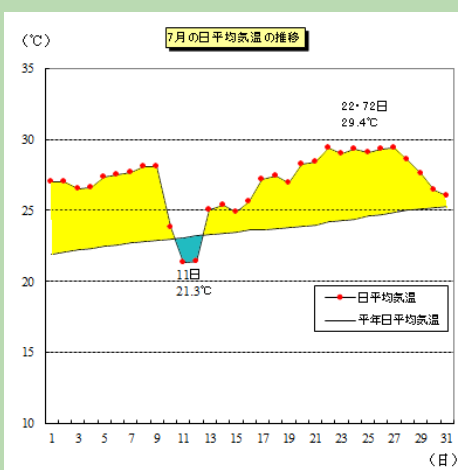
2025年の関東地方の梅雨入りは、平年より3日遅く、昨年より11日早い、6月10日頃でした。梅雨明けは、平年より1日早く、昨年と同じ7月18日でした。関東は平年並みでしたが、その他の地方は平年より早く、6月8日から7月19日の間に梅雨明けの発表がありました。

近年の梅雨入りと梅雨明け

	梅雨入り	梅雨明け
平年	6月07日	7月19日
2025年	6月10日	7月18日
2024年	6月21日	7月18日
2023年	6月08日	7月22日
2022年	6月06日	7月23日
2021年	6月14日	7月16日
2020年	6月11日	8月01日
2019年	6月07日	7月24日
2018年	6月06日	6月29日

7月の気候

7月は、高気圧に覆われる時が多く、前半に前線の影響で、後半は大気が不安定となり、雨が降ることがありましたが、平年より降水量は少なくなりました。気温は、平年よりかなり高く、7月の月平均気温は26・9度と、7月として2番目に高い気温となりました。最低気温の平均は7月とした最も高く、熱帯夜の日数も多くなりました。月合計降水量は65・5ミリと平年の41パーセントと少なく、月合計日照時間は198・5時間と平年より多くなりました。



一ヶ月予報 (気象庁発表)

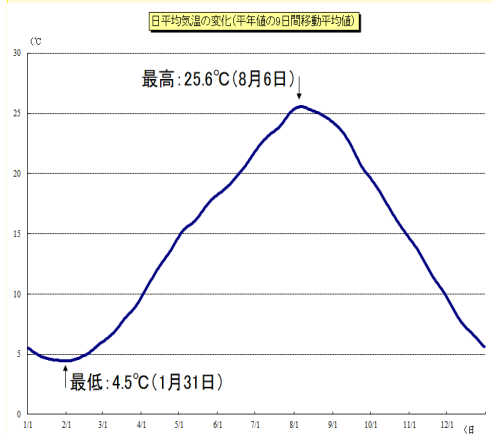
平年と同様に晴れの日が多く、下旬は平年より晴れの日が多く、暖かい空気に覆われやすいため、平均気温は「高い」、降水量は「ほぼ平年並み」、日照時間は、「ほぼ平年並み」となる見込みです。

年間で最も暑い時期

平年の1年間の気温の推移(日平均気温)をみると、8月6日が年間で最も高くなっています。7月28日から8月22日にかけて日平均気温が25℃を超えており、日最高気温でも、7月29日から8月18日までが29℃を超えており、この時期が最も暑い時期だといえそうです。

日最高気温の記録だと、最も高かった38・5度を記録した日は7月5日と8月15日、上位5位までのうち7月5日以外は8月10日から15日に観測されています。なお、日最低気温の最も高い日も8月13日に観測されています。

ここ数年は6月頃からは暑い日が多く、9月にかけても気温が高いことがあり、平年並みとはいかないですが、熱中症などの危険も高まる時期ですので、暑さに注意しましょう。



天気用語の基礎知識

警戒レベル レベル1

災害発生の危険度と取るべき避難行動を直感的に理解し、適確に避難行動がとれるようにするために内閣府が制定した情報。警戒レベル1から警戒レベル5までの5段階に分かれている。警戒レベル1と2は気象庁が発表し、レベル3から5は市町村が発表する。気象庁が発表するレベル1は、県内の地方単位、茨城県の場合は北部と南部単位で発表される「早期注意情報(警戒級の可能性)」のうち、大雨と高潮に関して「中」以上が予想されている状態に該当する。

・・・神峰の山から・・・

1970年大阪万博といえば、「太陽の塔」が有名です。ちよつとした切っ掛けで太陽の塔が好きになり調べていたら、筑波の科学万博の会場にも、岡本太郎の作品「未来を看る」があることがわかりました。もちろん当時は知るよしもありませんでした。ところが、現在ではつくばエキスポプレスの万博記念公園駅前にあります。大人になってから、どちらも見に行きましたが、太陽の塔は中には入れなかったもので、いつか中に入って、復元された地底の太陽と生命の樹を見たいなと思っています。

大阪は遠いので、行く機会はなかなかありませんが。